

県本部通信

Monthly
Zen-noh
Gunma

6
2025 June
No.277



This
month's
photo

花木流通センター カラー



Contents

事業のうごき

JAピックアップ！

インフォメーション

アートクッキング

農業チャレンジャー

花木流通センター便り



JA全農ぐんま
公式Instagram
情報発信中！
ぜひご覧ください



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



JA全農ぐんま

<https://www.zennoh.or.jp/gm/>



事業のうごき

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進

米麦特産課

- 令和6年産民間流通麦引取推進
- 令和7年産民間流通・ビール大麦集荷推進
- こんにゃく荒粉・精粉出荷販売推進(入札の実施)

園芸部

園芸販売課

- 共計ホウレンソウ販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味ニラ販売 (周年)
- 共計生梅販売 (6月末日迄)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 共計赤じそ販売 (6月末日迄)
- 共計県統一規格きゅうり販売 (7月末日迄)
- 共計バンダム販売 (7月末日迄)
- 共計にがうり販売 (9月末日迄)
- 共計県統一規格露地なす販売 (11月末日迄)

園芸総合対策課

- JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- GAP取組支援
- 園芸事業基盤再構築に向けた取組

園芸資材課

- 夏用出荷資材予約・当用推進
(枝豆・みょうが・おくら・なす・ほうれん草他)
- 夏秋用青果物段ボール予約・当用推進
- 果樹袋当用推進(りんご・ぶどう・なし・もも他)
- 段ボールショートフラップ化・低坪量化
(レタス・ほうれん草他)の推進
- 農PO・マルチの薄物品の取扱推進
- 高温対策(遮光資材他)資材の推進
- ネポン暖房機予約推進(第1期・4～6月)

- 農ビ・農ポリマルチ予約・当用推進
- 夏秋時用種子予約推進

生産資材部

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 水稻農薬当用推進
- 園芸肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

担い手推進課

- 大規模・系統未低利用生産者への推進支援
- JAの出向く体制強化支援

生活燃料部

生活課

- 蓄電池推進 (周年)
- シロアリ防除事業推進 (周年)
- JAタウン取扱品目拡大
- 新茶推進 (6月迄)
- WEB受発注システム各JA導入推進
- ペット火葬推進 (周年)
- 墓石事業取扱拡大推進 (周年)

石油課

- ワイパーキャンペーン (5月～6月)

ガス課

- JAでんき新規獲得推進 (4月～3月)
- 春の厨房機器推進 (4月～6月)
- ガス器具推進 (4月～12月)

本所 施設農住部 群馬施設農住事務所

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

群馬農協チキンフーズ(株) 赤城たちばな農場竣工式



4月15日(火)、群馬農協チキンフーズ(株)は渋川市北橘町で鶏舎「赤城たちばな農場」の竣工式を執り行い、同社役職員や当県本部、施工関係者ら約20人が出席しました。

同農場は、鶏舎の老朽化に伴い、一昨年5月に完成した4棟の隣接地に2棟の鶏舎を新築しました。チキンフーズ西目社長は「この赤城たちばな農場は年間20万羽を生産する予定です。10年先20年先を見据えて、ブロイラー事業を使命感を持って責務を果たしていきたい」と挨拶しました。

群馬県米麦種子センター竣工式



米麦特産課は、水稻・小麦・大麦の種子生産拠点「群馬県米麦種子センター」が完成し、4月22日(火)に竣工式を執り行いました。竣工式には、林運営委員会会長をはじめ、県内各JAの代表理事組合長や行政関係者、施工会社、JA関係者ら約60人が出席し、同施設の円滑な運営を祈願しました。林会長は「県域全体の種子調製の受け皿機能を発揮するとともに、最新の調製機器導入により、生産者へ均質な優良種子の安定供給をはかってまいります」と話しました。

JA邑楽館林 北部営農センター竣工式



4月21日(月)、JA邑楽館林は完成した「北部営農センター」の竣工式を執り行い、JA邑楽館林役職員や施工関係者、当県本部関係者ら約40人が出席しました。

同センターは、鉄骨造り平屋建て延べ床面積459㎡で、店舗、商談スペース、事務室を配置し、購買と営農指導を中心とした事業を行います。JA邑楽館林の阿部組合長は「館林北部エリアの営農経済の拠点として組合員・利用者に満足していただける事業を展開していきたい」と話しました。



JA-LPガス取扱強化研修会



4月23日(水)、ガス課はガス課研修室で「JA-LPガス取扱強化研修会」を開催し、15JAのガス関連部署長や担当者ら約30人が出席しました。研修会では、事業環境を念頭におきながら、多様な消費者ニーズに対応した快適なLPガス生活への提案と継続的・安定的なガス供給体制の確立のため、実施具体策と要領、目標などについて確認し、意思統一が図られました。また、研修会終了後、燃料転換活動において優秀な成績をおさめられたJA甘楽富岡が表彰され、代表者に賞状が手渡されました。

IPM（総合的病害虫・雑草管理） 研修会



4月23日(水)、肥料農業課はJAビルで「IPM研修会」を開催し、県内各JAの担当者ら38人が出席しました。研修会では、防除プログラムや天敵製剤を紹介し、JA佐波伊勢崎たまむら営農センターの木村担当が天敵活用事例を発表しました。続いて、同JA管内きゅうり生産者の堀越さんがバンカーシートを導入した利用状況について話しました。研修会の最後には堀越さんの圃場へ移動し、天敵定着の様子をルーペで確認し、今後のIPM普及に向けて知識や技術を習得しました。

レタス類の購入協力呼びかけ



今春の気温上昇による野菜・レタス類の出荷量増加の影響で、一部野菜では平年に比べ安値で取引され、生産者が大変苦しい思いをしていることを受け、園芸販売課はSNSのXを使い、レタス類を始めとする野菜の積極的な購入を呼びかけました。同課が運営するXは、昨年フォロワー数2万人を超えました。担当の坂本さんは、4月25日(金)から20種類のレタス料理を投稿するとともに生産者の窮状を発信し、レタス類の購入協力と拡散を呼びかけました。

令和7年度 第1回 GAP県域団体事務局会議



5月1日(木)、園芸総合対策課はJAビルで「第1回GAP県域団体事務局会議」を開催し、JA利根沼田、JAにったみどり、中央会および群馬県の関係者ら16人が出席しました。会議では、令和7年度事務局体制と役割分担、GAP審査対応スケジュール等が説明され、令和6年度に「JA全農ぐんまGAP県域団体認証グループ」として取得したGLOBAL G.A.P.認証の継続に向けた対応が協議されました。加えて、関係者間の情報データ共有の効率化を目的に、グループ用の情報共有アプリの運用を開始することが確認されました。

ビール大麦生産・流通対策会議



5月9日(金)、米麦特産課は群馬県稲麦研究センターで「ビール大麦生産・流通対策会議」を開催し、各JA・群馬県・ビール会社等の担当者ら31人が出席しました。会議ではビール大麦の円滑な流通に向けた意見交換が行われ、令和7年産大麦の生育状況などが共有されました。会議終了後、JA前橋市・JA佐波伊勢崎・JA邑楽館林の3JA管内の圃場巡回が行われ、各圃場においても概ね平年通りの生育状況であることが確認されました。

赤城高原レタスを使った レタスマックスをファミリーマートで発売



販売促進事務所はJA利根沼田と(株)ファミリーマートと連携し、赤城高原レタスを使ったレタスマックスを5月27日（火）から販売しています。JA利根沼田管内の赤城高原地域ならではの、冷涼な気候と豊かな自然環境で育まれた旬のレタスを、手軽に美味しくお召し上がりいただけるカットサラダに仕上げました。東北地方・関東地方のファミリーマート約7,000店舗で販売しています。是非この機会に手に取ってみてください。

※一部店舗では取り扱いのない場合がございます。

令和7年度 新入職員配属先

今年度、新たに6人が全農群馬県本部の一員となりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○柿沼 美帆	園芸部 園芸販売課
○杉木 柚太	生活燃料部 石油課
○高野 優希	東日本広域施設農住事業所 群馬施設農住事務所
○福田 大也	畜産農産部 酪農畜産課
○茂呂田莉生	生活燃料部 ガス課
○山口亜斗夢	生産資材部 肥料農業課



～採れたて!～えらべる!
野菜ボックス〈7品〉

好きなお野菜を注文画面より選べるようになりました!
当直売所には新鮮な野菜が、農家の方から持ち込まれます。その野菜を詰合せたのが、当ショップ人気No1「旬の野菜ボックス」。お客さまに、”好きな野菜”をお選びいただき、詰め合わせさせていただきます。



※旬の野菜のオーダー表は、季節によって取り扱いできるお野菜が変わります。また、作物のでき具合などで写真内容と異なる場合もございますが何卒ご了承ください。



おいしい日本と暮らそう
JAタウン
www.ja-town.com



アクセスはこちら!
<https://www.ja-town.com/shop/c/c3201>

AGRI MACHINE FAIR 2025

アグリマシンフェア2025

農業所得の増大と
農業生産の拡大を通じて
地域の活性化に寄与する。

第47回農業機械大展示即売会
2025 雨天決行 AM9:00~PM3:00
7.19 SAT . 20 SUN

キッチンカー大集合!!
Kitchen Car food shop

無料実演会&講演会
最新農機展示会開催

最新情報はコチラ

農業 チャレ

農業チャレンジャー

1

就農2年目

まずは農業経験を積むことから

JA邑楽館林管内

荒井雅幸さん

JA邑楽館林



Profile

荒井 雅幸 (あらい まさゆき) さん

1983年生まれ42歳

品 目: キュウリ.....11a
米.....2ha

趣 味: バスケットボール・
友人と飲みに行く



2



3

①収穫作業をする荒井さん
②箱詰めされたキュウリ
③手間を掛けて育てられた収穫間近のキュウリ

—今回の農業チャレンジャーは、JA邑楽館林管内でキュウリとお米を生産する荒井さんです。

—就農時期は？
今年で2年目になります。

—就農のきっかけは？
前から農業に興味がありました。学生の頃に友人の農業の手伝いをしたり、結婚後は仕事が休みの日に妻の実家の農業を手伝ったりしていました。いずれは就農したいと考えていましたので、年を取ってからよりも今のうちに始めた方が身につくと思い、2年前に決意しました。

—就農されていかがでしたか？
時期によっては、休みがありませんが、汗をかいったり、汚れたり嫌ではないので、苦になりません。

—一年間のスケジュールを教えてください
キュウリは2期生産しています。12月20日頃に苗を定植して2月から6月半ば頃までの収穫と、7月下旬からの生産は種まきから始めて、9月から11月頃に収穫します。今はキュウリの収穫と並行し

て、お米の準備を始めているところでトラクターをかけて、子供たちにも手伝ってもらって今月に種をまきます。
(取材時期：5月上旬)

—収穫量は？
天候にもよりますが、4月中旬から下旬頃の多い日で、1日に40ケース（1ケース50本入）程出荷します。

—心掛けていることは？
手を掛ければ掛けただけ良いキュウリができますので、芯を摘んだり、日光が当たるように葉かきをしたり、天候によってはうまくいかない場合もありますが、できるだけ手を掛けるように心掛けています。

—今後の展望をお聞かせください。
農業は、年齢は関係なく経験が大事だと思います。まだ就農して2年目ですので、まずは家族2人で現状の規模で生産し、周りの先輩方や農協の方の話を聞きながら、気候の変化に対応しつつ、品質の良いものを生産していきたいです。

—日々の手間を惜しまず経験を積む荒井さんに、今後さらなる活躍が期待されます。

JAピックアップ! ✨

～JAの活動をご紹介します～

JA碓氷安中なす部会 国府苗組合へなす苗の視察を実施

JA碓氷安中なす部会は、4月21日（月）にJAはぐくみ国府苗組合へなす部へ配布される苗の様子を確認するため視察を行いました。

国府苗組合ではなす部の苗だけでなくJAグリーンにて販売している苗も生産しています。なす部からは部会役員を中心に若手の生産者で計8名にて4圃場を確認し、順調に進んでいることを確認しました。

苗の配布は4月25日（金）、30日（水）、5月6日（火）の計3回となっており約20,000本の配布を予定しています。他の品目が生産者の高齢化が見られる中、なす部は毎年新規就農者がおり、今年も4名の就農が予定されています。

JA碓氷安中



▲苗を確認する生産者

JAあがつま



▲規格について話し合う参加者

い」との声がありました。JAの営農販売担当者は「需要に応えるべく、シーズン中は出荷を切らさないよう皆で協力して取り組んでいければ」と話し、安定出荷に向けて関係者が一体となって努力していく旨を呼びかけました。

フキノトウ目ぞろえ 50g規格で需要対応

JAあがつま農産部は1月下旬、フキノトウの出荷規格目ぞろえ会を東吾妻町にあるトマトセンターで開催しました。

同産地では50g規格の出荷をパック詰めで行います。

目ぞろえには生産者と青果卸売業者、吾妻農業事務所、JA全農および同JA職員らが参加。パックに詰めるフキノトウの数や並べ方、1個単位の重さ等を申し合わせた他、産地シールの貼り方や荷作りの仕方についても話し合いました。また、吾妻農業事務所が栽培管理の注意点を説明し、直近の気象状況に基づく営農情報も提供されました。

フキノトウの規格については多くの産地が100gを採用しています。同産地の規格に対し一部の卸売業者からは「昔に比べ単価が上がっている昨今は、価格が手ごろとなる50g規格の方が買い手に提案を受け入れてもらえるケースも多い

JAみどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等に変更になることがあります。

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
食肉のトップエリート養成／全国食肉学校	6月2日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※ 6月8日(日)	AM 8:00～ 8:30
農業全力応援 青年部／JA利根沼田	6月9日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※ 6月15日(日)	AM 8:00～ 8:30
初夏の実り みさとの梅／JAはぐくみ	6月16日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※ 6月22日(日)	AM 8:00～ 8:30
勢多農林高校(案)／JA群馬中央会	6月23日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※ 6月29日(日)	AM 8:00～ 8:30
エダマメ(案)／JA利根沼田	6月30日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※ 7月6日(日)	AM 8:00～ 8:30

ポチッと ぐんテレ 3ch 放映のお知らせ



◀加賀爪 聡アナ



小林 優アナ▶

ババロア(苺風味)



Food adviser 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材 料

4人分

(1人分178 kcal)

牛乳……………	200cc	オールスパイス……………	適量
ゼラチン……………	7g	ペパーミント……………	適量
水……………	30cc	飾り用クリーム	
グラニュー糖……………	30g	☆生クリーム……………	50cc
生クリーム……………	30cc	☆グラニュー糖……………	小さじ1/2
苺……………	200g	☆ラム酒……………	小さじ1/3
苺(飾り用)……………	12個		
ラム酒……………	小さじ1/3		

作り方

- 1 ゼラチンは分量の水でもどす。
- 2 鍋に1と牛乳を加えて火にかき、ゼラチンがとけたら、グラニュー糖と生クリームを入れる。
- 3 ボールに苺を入れハンドブレンダーで攪拌する。2を加えラム酒、オールスパイスを入れる。飾り用苺を4個残し、スライスする。
- 4 器の側面にスライス苺を置き、3の牛乳液を流し入れ、冷蔵庫で45～60分冷やし固める。
- 5 飾り用クリーム ボールに生クリームとグラニュー糖を入れ、泡だて器でホイップしラム酒を加える。(9分立て位)
- 6 4の上に生クリームと苺を飾り、ペパーミントを飾る。

花木流通センター便り

開催日

イベント

6/7(土)・8(日)

農薬基礎講習会
農薬の使い方・散布方法



KABOKU
花木流通センター

みのもり館
新鮮ぐんま

	営業時間	定休日
花木流通センター	4・5月: 9:00~17:00 6~3月: 9:00~16:00	4月・5月: 無休営業 6月~3月: 毎週火曜日定休
みのもり館	4~3月: 9:00~17:00	年末年始を除いて 無休営業
榛名十文字うどん	4~3月: 11:00~14:30	



住所 前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424

JAでんき

新規申し込みキャンペーン

JAでんきを新規お申し込み頂いた方に
JA購買券またはAコープ商品券

2,000円分

プレゼント

※JA購買券、Aコープ商品券のどちらの取り扱いになるかは、JA毎に異なりますのでご注意ください。詳しくは、最寄のJAでんき取扱い窓口にお問い合わせください。

キャンペーン実施期間
2025年 6月2日 ▶▶▶ 9月30日

さらに!! JAでんきは お得 がいっぱい!

01 JAでんきに切替えると年間の電気料金が
お得になります!!

※詳しい電気料金につきましてはJA照会先へお尋ねください。

02 新規お申込みされた方には
最大3,000円(税込)
お得キャンペーン実施中

※期間にお申込みいただく電気料金を3か月間、毎月1,000円(税込)を割引致します。

03 JAより専用用「JAでんき」と専用LPガス(クミヤブロバ)をセット(同一供給先)で契約のお客様は
LPガス基本料金を毎月220円(税込)
割引致します。

※LPガス基本料金は毎月220円(税込)を割引致します。

■お問い合わせ (最寄りのJAでんき代理店まで)

※JAでんきの小売電気事業は玄農エネルギー株式会社です(登録番号A0310)

【県本部通信】における個人情報の取扱いについて

【県本部通信】に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

〈あて先〉〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp